

2019年市議選立候補者アンケート

前文省略

質問1:従来はある程度余裕のあった所沢市の財政は、今後ますます厳しくなると予想されます。下記の項目にどのような対策が必要だとお考えですか？

(カッコ内に積極的な提案をご記入下さい)

歳入増加策として:

1)現役世代/子育て世代の住民増加策

(保育園・学童保育所の増設などで待機児を解消するとともに、小中学校の学校給食費の無償化、高校卒業までの医療費無料化などで子育てしやすい所沢市にすること)

2)雇用促進策

(市内の商工業、農業者に積極的な支援を行い、安定的・継続的な経営ができるようにすることで雇用を確保する。また、若者の雇用を確保するとともに、ブラック企業やブラックバイトなどを規制し、若者が働きやすい環境整備を図る)

3)低い納税率の向上策

(高すぎる国保税を引き下げるとともに、払える環境作り、低所得者の減免制度を充実させる)

4)その他自由意見・提言

(有利な立地条件を生かし、子育ても、老後も安心の所沢、暮らしも営業も安心の所沢にすること、そのために積極的な支援を行う)

歳出削減策として

1)人件費及び物件費の抑制策

(自治体の役割は住民福祉の向上であり、必要な人材、人件費はしっかり確保すべきだと考えます)

2)公共施設マネジメントをどのように進めますか。

(公共施設の統廃合計画が進められようとしていますが、住民の声をしっかり聞いて、住民合意で進めるべきです。統廃合という視点だけでなく再編強化・充実という視点からの検討が必要だと考えます)

3)学校の統廃合や公共転用について、どのように考えますか。

((2)と同様な視点に加えて、学校は地域文化、地域コミュニティーの拠点とも言えるものであり、合意なき統廃合はすすめるべきでないと考えます)

4)福祉関係費が膨らんでいます。

① 見直すべき項目/節減すべき項目がありますか？

(地方自治体の本旨は住民福祉の向上です)

② この分野で重点配慮すべきものは？

()

5)広義の補助金(負担金・補助金・交付金)が多額になっています。

① 現状で廃止してもよい補助金がありませんか。

()

② 逆に支給に値する活動で補助対象になっていない団体/活動があれば？

()

6) 行政監査のあり方について、どのように考えていますか。

(第三者的な視点から監査が実施できるような改革が必要と考えます)

7) その他自由意見

()

質問2: 地域コミュニティと市民参加と少数者配慮などについて

1) 自治会の加入率が下がっています。地域コミュニティを促進するにはどのような政策が必要と考えますか。

(防災活動などの取り組みを通じて、地域コミュニティを高めしていく。行政の下請け機関的なイメージを払拭し、住民参加、ボトムアップを大切にしていくことが重要と考えます)

2) 市政と市議会への市民参加の必要性について、どう考えますか。

(市民にわかりやすい議会、身近な議会に心がけていく姿勢が重要だと考えます。そのなかで、市や議会側から一方的な情報伝達でなく、市民の意見や要望を聞き、市民に返していく時間を多くとることが必要だと感じています)

3) 所沢通信基地問題について、どう考えますか。

(現在、米軍所沢通信基地の機能強化や土砂投入、ヘリポート、オスプレイ離着陸基地化が懸念されています。住宅密集地でそんなことは許せません。中止を求めるとともに、早期全面返還を求めていくことが必要です)

4) 文化芸術振興ビジョンができました。文化的連携をどう進めていけばよいと考えますか。

(幅広い年齢層、市民層に受け入れられ、身近に接することができる文化、芸術にできるよう期待したいと思います。また、市内の文化団体、芸術家等の交流をすすめることも重要だと考えます)

5) いろいろな情報公開がなされています。どうすれば、市民に役立つとお考えですか。

(様々な委員会、審議会、検討委員会などの日時、場所、内容等を広く公開するとともに、傍聴者に積極的に資料を提供する。また、意見や感想なども反映できるように方策を検討する必要があると考えます)

6) 男女共同参画、障害者支援、LGBT 対応など少数者への配慮について、どう考えますか。

(障がい者やLGBTなど少数者の意見や要望を反映できるようにする。特に、障がい者が安心して生活できる環境をつくることは、市民誰もが安心して生活できる所沢になると確信します)

7) その他の自由意見・提言

()

質問3: 地域の活性化・まちづくり及び環境問題について

(具体的提案があればご記入ください)

1) 高齢化した住民の足がありません。私鉄バスの減便など公共交通の空白地域の問題について、どう考えますか。

(地域公共交通の総合的見直しを行い、ところバスの運行改善や坂戸市や鶴ヶ島市のような小型循環バスの検討、デマンド交通システムの検討を行い、交通不便地域を解消する)

2) 産業振興ビジョンができました。企業誘致について、どう進めますか。

(市内の既存事業者が経営が安定、継続できることを最優先で行うことで、所沢で経営をしたくなるような体制が必要と考えます。同時に、市内で経済が好循環するように行政が支援する)

3) 廃棄物の減量・リサイクルについて

(リサイクル、リユース、リデュースをすすめる。生ゴミについては、農家と連携し堆肥化を積極的にすすめる)

4) 廃棄物処理コストの削減について

(3)と同じ)

5) 農業従事者が減少しています。生産緑地を含めた近郊農地のあり方について、どのようにお考えですか。

(東京都のように都市近郊農業を積極的に支援するとともに、住民との交流促進を支援する)

質問4: 高齢化問題、子育て問題について

1) 「住みよい街」を作るため、下記の項目にどのような政策が必要とお考えですか。

① 高齢者の問題について、

(介護保険制度の改善・充実。介護予防の充実。安心して利用できる特養施設。高齢者の貧困や引きこもりなどが大きな課題になってきている。支援策の検討、相談窓口の開設などが必要)

② 子育ての問題について、

(育休退園をやめる。保育園・学童保育所の増設で待機児をなくす。定員を大幅に超える大規模学童を解消する)

③ 市と市民の協働について

(公募委員の枠を増やし、多様な声が反映できるものにする)

2) また、他市に優れた事例がありましたら、当市の財政事情を踏まえて実効性のある提言をお願いします。

(特に群馬県で進んでいる学校給食の無料化と学校給食に地場産農産物の利活用を増やす。農家の生産意欲が高まるとともに、子どもたちが地域農業を大切さを理解することができる)

質問5: 立候補した動機と、議員として実現したいこと

1) 立候補した主な動機をお聞かせ下さい。

(派遣労働やパート、アルバイトなどの非正規労働で若者が使い捨てにされている実態、長時間・過密労働で体をこわしたり、過労死する実態に怒りを感じ、弱い者いじめの社会をなくし、「8時間働けば普通に暮らせる社会」にしたいと立候補を決意した)

2) 一番実現したい政策を3つ上げてください。

① (高すぎる国保税の引き下げと減免制度の拡充)

- ②(保育園・学童保育所の待機児をなくす)
- ③(若者の雇用確保とブラック企業、ブラックバイトの規制)

以上

ご協力有り難うございました。

お名前をご記入願います。(天野 あつし)